

令和6年度 第1回

地域包括支援に関する会議

資料 1

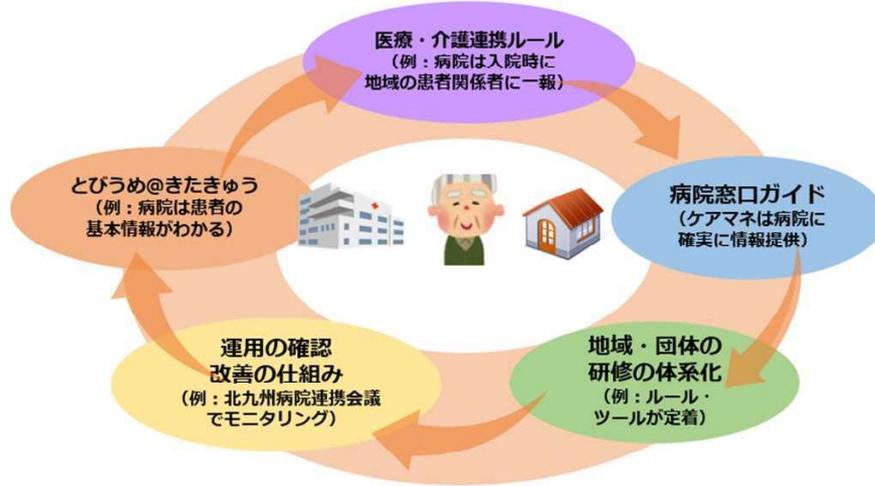
2 報告

(1) 北九州医療・介護連携プロジェクト(とびうめ@きたきゅう)

について

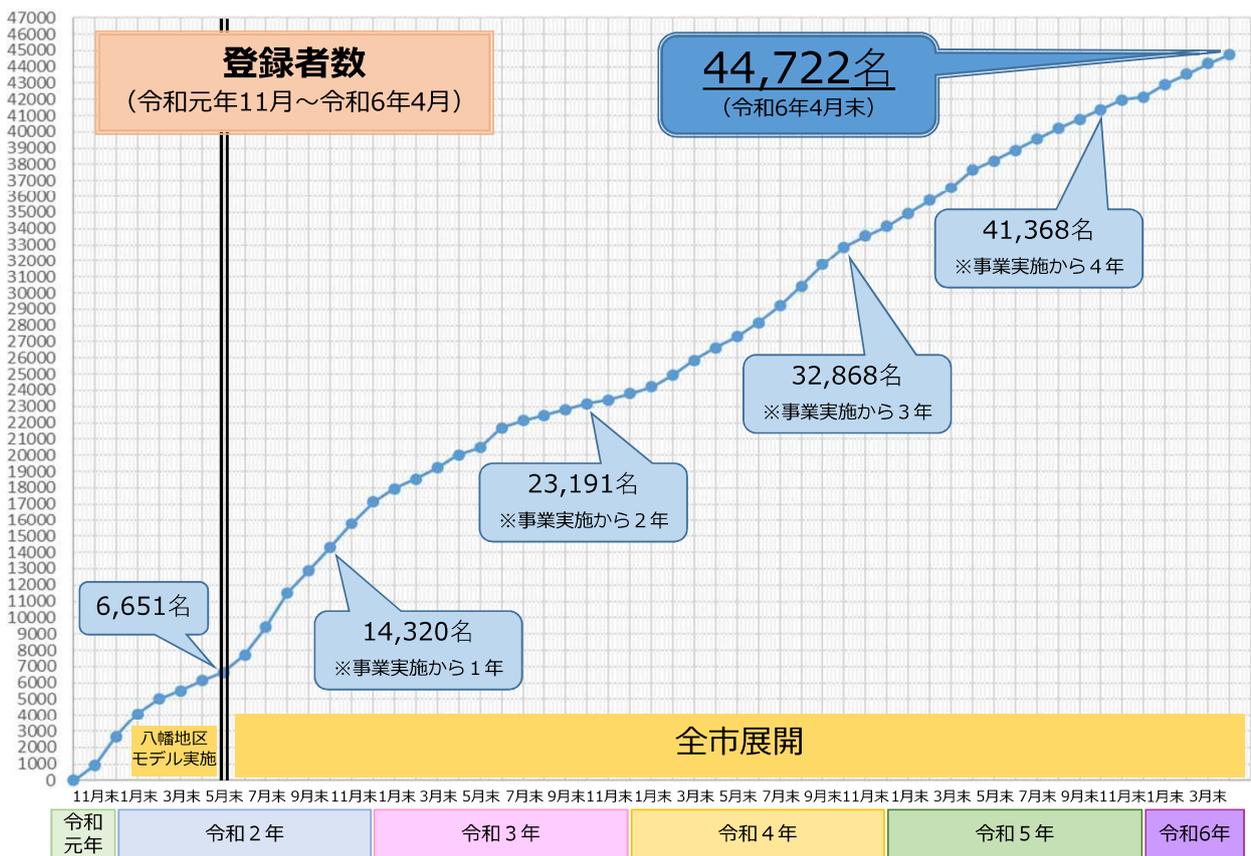


北九州医療・介護連携プロジェクト (とびうめ@きたきゅう) について



1

(1) 「とびうめ@きたきゅう」について



2

登録者数（行政区別）

令和6年4月末時点

行政区	登録者数		参考：65歳以上 (R6.3.31時点)
門司区	5,318	15.4%	34,548
小倉北区	5,353	10.2%	52,281
小倉南区	8,201	13.6%	60,200
若松区	4,656	17.6%	26,414
八幡東区	4,984	22.1%	22,573
八幡西区	13,225	17.6%	75,114
戸畑区	2,985	16.8%	17,797
合計	44,722	15.5%	288,927

3

種別ごとに集めた同意取得件数

種別（事業所区分）	同意取得件数 (令和6年4月末時点)	前年同月末比
病院	1,994	+141
診療所	5,318	+17
歯科診療所	106	+1
訪問看護ステーション	198	+2
居宅介護支援（ケアマネ）事業所	6,098	+170
特別養護老人ホーム	866	+22
介護老人保健施設	155	+5
薬局	311	0
在宅医療・介護連携支援センター	1,945	+24
区役所	4,413	+135
その他(自治会等)	8,316	+643
要介護認定・要支援認定等申請書	17,745	+6,751
合計	47,465	+7,911

※上記は同意取得件数であり、取得から登録までのタイムラグや重複申込等があるため、登録者数とは一致しない。

4

消防局における救急搬送時の「とびうめ@きたきゅう」活用状況 【令和4年7月～運用開始】

- 救急出動の際、現場で**傷病者の情報等が得られず救急活動に支障**が出た場合に、消防局指令センターで「とびうめ@きたきゅう」の検索（閲覧照会）を実施。
- 登録者であると判明した場合は、**救急活動の参考として活用**するとともに、**搬送先の病院にも登録済み患者であることを伝達**。

区 分		計（R5.12月末現在）
「登録者である」ことを病院に伝達した件数 ①		36件
①の内訳	（登録カードや口頭等で把握）	（30件）
	（消防局で閲覧照会し、判明）	（6件）
消防局で閲覧照会したが「登録なし」 ②		3件
合 計（①+②）		39件

【消防局で閲覧照会し、導入効果（連絡先の把握、搬送先選定の参考等）があった事例】

◎施設から抜け出して徘徊し、路上で転倒していた施設利用者について、氏名をもとに閲覧照会した結果、**登録者であると判明し、本人情報を取得**。

➔ **引き続き、消防局との効果的な運用と協力体制を継続**

5

要介護認定等申請による「とびうめ@きたきゅう」同意取得状況 【令和3年12月～運用開始】

- 要介護認定等の新規申請や更新のタイミングにあわせ、**登録しやすい機会を創出**することを目的に、「とびうめ@きたきゅう」への登録同意欄を要介護認定等申請書の様式に追加（R3.12月～）

- これにより、**登録希望者やケアマネジャーの負担の軽減**にも寄与

記入	既に認定結果通知を受け取っている場合は「はい」を選択してください。 「いいえ」の場合、申請日 令和 年 月 日	
変更申請の方のみ記入		
変更申請の理由		
以下の内容について、 <input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません。（「同意します」を選択した方は、署名をお願いします。）		
介護サービス計画の作成等介護保険事業の適切な運営のため必要があるときに、要介護認定・要支援認定に係る調査内容、介護認定審査会における判定結果・意見及び主治医意見書のうち必要な資料を、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、地		
「とびうめ@きたきゅう」登録同意欄（追加）		
※「とびうめ@きたきゅう」への登録を希望の方のみ記入（既に登録済みの方は記入不要）		
私は、「とびうめ@きたきゅう」についての説明を受け、その目的及び利用方法を理解しました。私の医療・介護・健診等の情報かとびうめ@きたきゅうで共有されること及び「とびうめ@きたきゅう」への登録に際して、本紙記載内容が関係者に提供されることに同意します。		
本人の氏名（必須）	代理人氏名	（本人との関係）
緊急連絡先 （住所） 氏名	（フリガナ） 氏名	（本人との関係） 電話番号（ ） -
北九州市記入欄	① 受付担当	② 受付担当
上記申請を受けたい（印）	連絡者	連絡日
訪問調査	調査員	調査員
承認済	係長	係長

窓口用① 訪問調査員用② 認定審査会用③

【これまでの同意取得数（要介護認定等申請分）】

区 分	令和3年 （12月）	令和4年 （1～12月）	令和5年 （1～12月）	累計
要介護申請数 （a）	4,915件	52,919件	49,989件	107,823件
うち同意取得数 （b）	282件	8,619件	7,331件	16,232件
取得率 （b/a）	5.7%	16.3%	14.7%	15.1%

➔ **引き続き、要介護申請の機会等も活用しながら、登録の推奨を継続**

6

各種広報物による周知状況 【特集ページ掲載等による紹介（令和5年度）】



みんなで支え合う
介護保険



高齢者のための
サービスガイド



「国保のてびき」掲載状況



ハートページ
(介護事業者が「トブブック」)



さくら
(アクティニア向け生活情報誌)

➔ **引き続き、普及啓発や各種広報物への掲載等による周知活動を実施**

7

「とびうめ@きたきゅう」の市外展開に向けた動きについて

概要

市民サービスの向上や登録促進等を目的に、これまでの市内医療機関に加え、**市外の「とびうめネット参加病院」**（緊急時紹介先医療機関のうち救急告示病院）においても『とびうめ@きたきゅう』の閲覧【市外展開】を可能とするもの

市外展開に向けた動き

* R6.3月 北九州医療・介護連携プロジェクト会議承認済

- **4者（県医師会・市医師会・県・市）による合意書の締結**（R6.4.15付締結）
- 【県医】**登録申出書の一部改訂**（R6.2月実施済）
- 【県医】**とびうめネットのシステム改修**（市外展開開始までに）
- 【市】**既登録者への市外展開開始のお知らせ**（R6.6月～7月頃）
- 【県】**とびうめネット登録医療機関への周知**（市外展開開始までに）

市外展開時期（予定）

令和6年8月～

8

< 参考 > 既に閲覧可能な北九州市内の医療機関(病院のみ:39病院)

地域	医療機関名
門司区	九州鉄道記念病院 九州労災病院門司メディカルセンター 新小文字病院 新門司病院 門司掖済会病院
小倉北区	北九州市立医療センター 北九州総合病院 霧ヶ丘つだ病院 小倉到津病院 小倉記念病院 小倉第一病院 健和会大手町病院 新小倉病院 三萩野病院
小倉南区	あさひ松本病院 九州労災病院 小倉医療センター 堤小倉病院 東和病院 平尾台病院
若松区	産業医科大学若松病院
八幡東区	北九州市立八幡病院 済生会八幡総合病院 製鉄記念八幡病院 西野病院 北九州八幡東病院
八幡西区	香月中央病院 佐々木病院 産業医科大学病院 JCHO九州病院 正和中央病院 正和なみき病院 新王子病院 東筑病院 八幡厚生病院
戸畑区	戸畑共立病院 戸畑けんわ病院 戸畑総合病院 戸畑リハビリテーション病院

※市内では、上記39病院に診療所を加えた154医療機関で閲覧が可能(R6.4月末時点)

9

< 参考 > 新たに閲覧可能となる福岡県内の二次、三次救急医療機関(計81病院)

(R6.4月末時点)

地域	医療機関名
三次	福岡 済生会福岡総合病院 福岡大学病院 九州大学病院 九州医療センター 福岡東医療センター
	筑豊 飯塚病院
	筑後 久留米大学病院 聖マリア病院
二次	遠賀中間 新中間病院 福岡新水巻病院 おんが病院
	京都 小波瀬病院 新行橋病院
	福岡市 福岡和白病院 福岡赤十字病院 那珂川病院 福岡市民病院 佐田病院 福岡輝栄会病院 浜の町病院 白十字病院 福岡大学西新病院 八木病院 西福岡病院 木村病院 千鳥橋病院 福岡記念病院 吉村病院 貝塚病院 原三信病院 福岡鳥飼病院 千早病院 秋本病院 福岡市立こども病院 九州中央病院 聖峰会マリン病院
	筑紫 福岡徳洲会病院 済生会二日市病院 原病院 福岡大学筑紫病院 樋口病院
	糸島 糸島医師会病院 渡辺整形外科病院
	粕屋 篠栗病院 福岡青洲会病院 社会保険仲原病院 片井整形外科・内科病院 栄光病院 三野原病院 岡部病院
	宗像 宗像水光会総合病院 宗像医師会病院
	田川 社会保険田川病院 田川市立病院
	飯塚 嘉麻赤十字病院 飯塚市立病院 済生会飯塚嘉穂病院 西野病院
	久留米 新古賀病院 内藤病院 久留米総合病院
	大牟田 ヨコクラ病院 杉循環器科内科病院 大牟田市立病院 大牟田天領病院 米の山病院 済生会大牟田病院 大牟田中央病院
	八女筑後 筑後市立病院 公立八女総合病院
	朝倉 朝倉医師会病院 甘木中央病院
	小郡三井 嶋田病院 神代病院
	大川三潁 安本病院 福田病院 高木病院 富田病院
	柳川山門 長田病院 柳川病院
	浮羽 田主丸中央病院

10

1. 「医療・介護連携ルール」活用状況調査（結果）
2. 「とびうめ@きたきゅう」活用状況調査（結果）

11

1. 「医療・介護連携ルール」活用状況調査結果（対象：ケアマネ事業所）

1. 調査目的

- 北九州医療・介護連携プロジェクトの中心的な取組みである「とびうめ@きたきゅう」や「医療・介護連携ルール」の運用状況等を把握するための調査を、前年度に引き続き実施。

2. 調査概要

- 病院からケアマネ事業所へ、利用者が入院された際に連絡が来ているか（「医療・介護連携ルール」が運用されているか）について、調査票を市内の全ケアマネ事業所に送付し、回答状況を集計。

3. 調査期間

- 令和5年11月27日（月）から同年12月22日（金） ※約1か月間

4. 回答率

- 43.1%（160/371事業所）※小規模多機能型居宅介護を含む
《昨年度 41.9%（158/377事業所）》

5. 調査期間中の入院件数

- 536件（救急入院・当日入院・その他入院）
《昨年度 500件》

12

○結果要点

【病院→ケアマネ事業所への入院連絡】

- ①入院3日以内に連絡があった **274/536件 (51.1%)** 《昨年度 51.2%》
- ②入院4日以降に連絡があった 23/536件 (4.3%) 《昨年度 4.4%》
- ③連絡がなかった (家族等から連絡あり) 239/536件 (44.6%) 《昨年度 44.4%》

【ケアマネ事業所→病院への情報提供】 <病院からの入院連絡あり (上記①+②) を集計>

- ①3日以内に情報提供をした **217/297件 (73.1%)** 《昨年度 78.8%》
- ②4日以降に情報提供をした 11/297件 (3.7%) 《昨年度 2.2%》
- ③情報提供していない 69/297件 (23.2%) 《昨年度 19.1%》

*参考：全ての入院 (536件) における「ケアマネ事業所→病院への情報提供」の割合

全入院種別		全体 (N=536件)	左のうち、「病院からの連絡」が	
			ありの場合 (N=297件)	なしの場合 (N=239件)
	情報提供をした	70.7%(379件)	76.8% (228件)	63.2% (151件)
上記内訳	入院を知って3日以内	63.4%(340件)	73.1%(217件)	57.7%(138件)
	入院を知って4日以降	7.3%(39件)	3.7%(11件)	5.4%(13件)
	情報提供なし	29.3%(157件)	23.2%(69件)	36.8%(88件)

➔ 病院からケアマネ事業所への「入院連絡あり」のほうが
ケアマネ事業所から病院に「情報提供をした」割合が高くなっている

13

2. 「とびうめ@きたきゅう」活用状況調査結果 (対象：病院)

1. 調査目的

- 「とびうめ@きたきゅう」に参加している病院 (全39病院) を対象に、
「とびうめ@きたきゅう」の活用状況や「医療・介護連携ルール」の運用状況等を把握するための調査を、前年度に引き続き実施。

2. 調査方法

- 「とびうめ@きたきゅう」参加病院に電子メール及び郵送にて調査票を送付

3. 調査期間

- 令和5年11月22日 (水) から同年12月22日 (金)

4. 回答率

- 64.1% (25/39病院) 《昨年度：43.6% (17/39病院)》

<内訳>

- ・救急病院 12病院
- ・その他の病院 13病院

14

○結果要点

【利用している部署および検索・閲覧できる職種】

- ・部署：「地域連携室」が最も多い **76.0%** 《昨年度もトップ》
- ・職種：「事務スタッフ」が最も多い **76.0%** 《昨年度もトップ》

【活用状況】

- ・院外の関係者に連絡するため 28.0% 《昨年度 35.3%》
- ・緊急搬送時の治療の参考情報 24.0% 《昨年度 29.4%》
- ・閲覧情報を院内の多職種で共有するため 12.0% 《昨年度 5.9%》
- ・活用していない **60.0%** 《昨年度 52.9%》

※活用していない主な理由

- ・院内での周知・理解が十分でないため
- ・閲覧情報を既に保有しているため
- ・PCの起動から見るまでに時間がかかる
- ・登録者数が少ないため

【入院患者が介護サービス利用者の場合、ケアマネジャーに連絡しているか】

- ・連絡している **72.0%** 《昨年度 47.1%》
- ・連絡していない 4.0% 《昨年度 11.8%》
- ・連絡する場合としない場合の両方 24.0% 《昨年度 41.2%》

※連絡していない理由

- ・家族等を通じて伝えてもらっている
- ・退院調整の段階に入った時点で連絡
- ・入院期間が短く、CMまで連絡ができないこともある

15

北九州医療・介護連携プロジェクトとして 今後、力を入れていく点

①「とびうめ@きたきゅう」の市外展開に向けた取組み

- これまでの3者（福岡県医師会・北九州市医師会・北九州市）に加え、福岡県を含めた4者で共同して取組みを進めていく。
- 新たに加わる市外医療機関においても、有効的に活用していただけるよう、プロジェクト会議構成団体を含めた関係者間で協力しながら、周知・啓発等を図る。

②プロジェクトを効率よく効果的に運用してもらうための取組み

- 「とびうめ@きたきゅう」の市外展開後も効率よく効果的に運用してもらえるよう、引き続き「とびうめ@きたきゅう」の登録者数を増やす取組みを進める。
- あわせて「医療・介護連携ルール」のより一層の定着化や「病院窓口ガイド」の見直し・拡充等に取り組んでいく。

16

(3) 「病院窓口ガイド」の改訂等について

- 掲載されている**全病院に掲載内容等の確認**を実施（令和6年1月）
- 「**市外近隣病院**」に**追加掲載の個別依頼**を実施
 - ・対象：福岡新水巻病院、新中間病院、おんが病院、小波瀬病院、新行橋病院
 - ※いずれも県内の「とびうめネット」に参加する隣接地域の救急告示病院
 - ➔ **いずれの病院も掲載OK!**
- **令和6年3月1日付で改訂**し、各所に配布済【配布先】
 - 全ての掲載病院、訪問看護ST、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護
 - ※上記のほか、介護保険施設にも周知
 - ※市ホームページにも最新版を掲載（以後、随時更新）

計84病院
掲載!!

